

保護者の皆様及び生徒のみなさん

大阪府立天王寺高等学校
校長 西田 恵二

令和4年度 学校評価アンケート（学校教育自己診断）回答のまとめ

向春の候、皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて本校は、日本や国際社会で活躍する真のリーダーを育成することをめざし、文武両道、授業第一、本物志向、鍛練主義を实践してさまざまな教育活動に取り組んでまいりました。これらの教育活動を発展させ、積極的に推し進めるため、昨年10月に「学校教育自己診断」を実施し、分析・検討を行いました。このたび、総括した結果がまとまりましたので、ここにお知らせします。

今後とも豊かで質の高い教育環境づくりをめざしておりますので、皆様の一層のご協力をお願いいたします。

生徒回答集計

回答数/（1年 357、2年 343、3年 348 回収率 97%）

「非常にそう思う」と「そう思う」という肯定的な意見の割合（%）を掲載している。

差・・・昨年度との%の差

分析・・・コメントを掲載している項目

	質問項目	R4	R3	差	分析
1	学校に行くのが楽しい。	92	88	+4	
2	学校での友人関係はうまくいっている。	96	96	0	
3	本校の様々な特色は、全体的に見て自分に合っている。	87	85	+2	
4	本校の活動にはリーダーシップの育成に役立つものがあると感じる。	90	90	0	
5	本校の活動を通じて、他校と交流の機会がある。	54	49	+5	
6	内容が分かりやすく、満足できる授業が多い。	94	92	+2	
7	学校の授業だけで、進路希望達成に必要な学力をつけてくれる。	79	77	+2	
8	授業の理解度に応じて、生徒が参加できる補習や講習が行われる。	96	96	0	
9	教材や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。	96	96	0	
10	課題研究等授業でICT機器を活用している。	89			
11	いじめや学校生活の悩みや相談に親身になって応じてくれる教員がいる。	93	89	+4	
12	相談室や保健室に行きやすい。	75	73	+2	
13	学校生活についての先生の指導には納得できる。	78	74	+4	
14	将来の生き方や職業選択等について必要な情報を提供してくれる。	96	95	+1	
15	大学生などの卒業生の話を聞く機会が多く、刺激を受ける。	90	87	+3	
16	専門家の講演会や大学の見学など、自分の進路に関わる行事が豊富である。	95	93	+2	
17	桃陰セミナー・部学習日・土曜講習があることは、土曜日の活用と自らの学習に役立っている。	80	80	0	
18	学校行事の多いことは、本校の特色として魅力的だ。	96	95	+1	
19	学校行事全般に対して、積極的に参加している。	92	89	+3	
20	行事等においてホームルーム活動に積極的に関わっている。	91	88	+3	
21	部活動に参加している。（※右の数値は参加している生徒の割合）	92	92	0	
22	部活動に積極的に取り組んでいる。（対象：20部活動に参加している生徒）	96	94	+2	
23	部活動と勉強との両立ができています。（対象：20部活動に参加している生徒）	82	82	0	

24	部活動での人間関係はうまくいっている。(対象：20.部活動に参加している生徒)	95	92	+3	
25	本校の人権教育によって、人権についての意識が高まった。	86	83	+3	
26	命の大切さや社会のルールを学ぶ機会が多い。	85	83	+2	
27	清掃活動に取り組み清潔が保たれている。(R4) 清掃活動が行き届いていて、清潔である。(R3)	79	54	+25	○
28	学校の施設・設備全般について、適切に整備されている。	70	58	+12	○
29	学習講座は有意義である(1年4月)	89	92	-3	
30	野外生活体験学習は有意義である。(1年7月)	93	93	0	
31	水泳訓練は有意義である(1年7月)	96	97	-1	
32	社会人講演会は有意義である。(1年11月)	94	93	+1	
33	京大見学会は有意義である。(2年6月)	96	92	+4	
34	宿泊研修(修学旅行)は有意義である。(2年10月)	99	98	+1	
35	課題研究は有意義である。(2年)	86	85	+1	
36	学部学科紹介は有意義である。(3年6月)	96	98	-2	
37	天高アカデミアは有意義である。	92	93	-1	
	SSH, GL 事業は有意義である。	93	92	+1	

回答数/ (1年 357、2年 343、3年 348 回収率 97%)

どの質問も肯定的な回答の割合に大きな変化は見られないが全体的にプラスとなっている項目については、コロナ禍で様々な制限があった昨年度に比べ、ウィズコロナと言われるようになり、少しずつコロナ禍以前の数値に戻りつつある。Q27 清掃活動については質問を生徒の能動的な取り組みとしたことで25ポイント増加している。また、Q28 の施設設備の適切な整備についても12ポイント増加しており、南館の男子トイレの改修工事が行われたことで改善された部分も大きいと思われる。

保護者回答集計

回答数/ (1年 308、2年 298、3年 272 回収率 81%)

「非常にそう思う」と「そう思う」という肯定的な意見の割合(%)を掲載している。

差・・・昨年度との%の差

分析・・・コメントを掲載している項目

	質問項目	R4	R3	差	分析
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	89	89	0	
2	子供は自分のクラスが楽しいと言っている。	89	87	+2	
3	学校の雰囲気がよく、子供たちが生き生きしている。	95	93	+2	
4	先生は子供を理解している。	87	87	0	
5	この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。	96	95	+1	
6	学校は、教育目標をわかりやすく伝えている。	92	92	0	
7	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	80	79	+1	
8	学習の内容や進捗等を、懇談や通信などによって知ることができる。	80	81	-1	
9	課題研究等授業で ICT 機器を活用している。	82			
10	学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	85	83	+2	
11	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してく	88	83	+5	
12	学校は子どもの命を大切にす心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	93	93	0	
13	学校の生徒指導の方針に共感できる。	90	88	+2	
14	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	80	85	-5	
15	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	94	90	+4	

16	進路指導面で学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	80	81	-1	
17	学校は、教育情報について提供の努力をしている。	94	88	+6	
18	学校行事は、子どもが積極的に参加できるよう工夫されている。	96	88	+8	○
19	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	93	79	+14	○
20	この学校の部活動は活発である。	97	90	+7	○
21	学校は、環境、国際理解・福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。	87	85	+2	
22	学校は、保護者が授業を参観しやすい工夫をおこなっている。	85	77	+8	○
23	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	90	90	0	
24	PTA 活動には参加しやすい。	62	63	-1	

回答数 / (1年 308、2年 298、3年 272 回収率 81%)

回答率 81%と例年通り高い関心を寄せていただいている。各質問に対する肯定的な回答の割合に大きな変化は見られないが Q18、Q19、Q20 の行事・参観・部活動などの回答が大幅にプラスとなっている。生徒と同様コロナ禍で様々な制限があった昨年度に比べ、本校の本来の教育活動に戻りつつあり、それらの点で概ね保護者の方々にも理解いただいていると思われる。

評価結果を受けての各分掌等での検討事項(抜粋)

1 学年

生徒のアンケートについては、全学年の平均値より 1%以上高い数値を示した項目が Q1, 2~8, 10, 11, 13, 17, 24, 27~29, 37 と多い。

中でも「学校が楽しい」「授業がわかりやすい」「学校の授業だけで進路実現に必要な学力がつく」「理解度に応じた講習がある」「先生の指導に納得できる」などの数値が高く、授業第一主義を標榜する学校としての役目を果たし、生徒との信頼関係も築けているだろうことは評価に値する。

保護者のアンケートについては、全学年の平均値より 1%以上高い数値を示した項目は Q1, 5, 7, 8, 9, 11, 13~17, 19, 21~24 であった。(質問内容については調査用紙を参照のこと) 生徒が「学校が楽しい」「授業がわかりやすい」と家庭で話してくれていること、また、保護者のみなさまが「PTA活動に参加しやすい」「学校は家庭への連絡・意思疎通を積極的に行っている」の項目は全体よりも 5%程度高く、保護者の皆さまのご理解、ご協力のもと家庭と学校との良い関係が構築できていると考えられる。

2 学年

生徒のアンケートの結果、学校平均値よりも高い数値を示していた質問項目としては、Q3、Q10、Q21、Q33 だけであった。76 期 1 年次より 5 ポイント以上数値が下がったのが、Q1、Q7、Q13、Q17 であった。その中で特に気になったのが、Q7「学校の授業だけで進路希望達成に必要な学力がつく」、Q13「学校生活についての先生の指導には納得できる」の項目であったが過去のアンケート結果と比較してもどの項目でも 2 年次では低い数値が出やすい傾向がある。ただどの学年でも、3 年次では大きくポイントが回復をしているため、学校としての一貫した指導を、生徒が理解し、受け止めたと考えられる。生徒達の進路実現のサポートと、社会で活躍できる人材育成という天王寺高校の使命を意識しつつ、これからも継続した指導を行っていきたい。

保護者アンケートの結果は、おおむね学校平均値と同等のものが多かった。引き続き生徒の夢の実現のため保護者の方と協力をしながら 3 年生に向けた準備を進めていきたい。

3 学年

生徒結果について・・・Q8・9 の教科教育に関する質問、Q14~16 の進路指導に関する質問、Q20~22・24 の

部活動・HR活動に関する質問、Q18・30～32・34・36の学校行事に関する質問に対してはすべて95%を越え、肯定的な回答の割合が高かった。3年生になり生徒がより授業を大切にしていることや、授業者である教師に対しても高く評価していることがわかる。また、進路指導についても自分事としての関心がより高まり、きめ細やかな指導に対する評価が高かった。本校の特色である行事に関しては昨年までのコロナ禍の影響で例年通りできなかったが今年はほぼ例年通りに実施できてので、その分を取り戻すかのように積極的に参加し、達成感、充実感を持ってやりきってくれたことは大変喜ばしいことである。昨年に引き続きQ5「他校との交流の機会」Q12「先生の指導には納得できる」Q27・28「施設・設備」の項目で肯定的な回答の割合が低かった。年々肯定的な回答の割合は増えたものの、入学時から続くコロナ禍による影響が最後まで続いたことは否めない。

保護者結果について・・・3年間を通して本校の教育活動の特色や意義、目的をよく理解していただいていることが、肯定的な回答が3学年の中でも一番多いことからわかり大変有難い。(Q4・6～8・10～12・14～18)中でもQ12「生命を大切に作る心や社会ルールを守る態度を養う」Q15「将来の進路や職業などについて適切な指導」Q17「教育情報についての努力」Q18「学校行事は子どもが積極的に参加できるように工夫」はとくに全体よりも高い肯定的回答をいただいた。入学時からコロナ禍のため行事が中止や縮小され、保護者の皆様には行事に参加していただく機会が少なくなりましたが(Q22)、コロナ禍後には例年通り保護者の皆様にもご来校していただく機会を作り、本校の教育活動をより理解していただける場面をつくっていくことが大切である。

教務部

授業や学習に関する設問については生徒、保護者、とも概して高い。生徒6「内容が分かりやすく満足できる授業が多い」:94.4%に対して、保護者7「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている」:79.8%より、生徒も理解しやすい授業を求めているわけではないと考えられる。補習・講習に関しても生徒8:96%、と一定の評価を得ている。

今後の課題として、生徒7「授業だけで進路希望達成に必要な学力がつく」:79%という部分に関して、生徒自身が学校の授業で進路実現が可能だということを感じられるよう、今後も教員間での情報交換や様々な教員研修などを通して授業力向上の取り組みを続けていく必要がある。

生徒指導部

生徒に対するアンケートにおいて、生徒指導に関するほとんどの項目で、肯定的数値が出ている。個別に見てみると、「学校に行くのが楽しい。」が92%、「学校での友人関係はうまくいっている。」96%、「部活動に積極的に取り組んでいる。」が96%、「学校行事全般に対して積極的に参加している。」が92%であった。おおむね学校生活に積極的に参加し、良好な人間関係を築けているようである。また、「部活動と勉強との両立ができています」という生徒は82%で他の項目よりも低い傾向が例年あったが、2年連続で80%を越えている。

生徒・保護者に共通して、行事や部活動の学校生活に関する満足度の高い数値が出ている。生徒質問「学校行事の多いことは本校の特色として魅力的だ」が96%、保護者質問「部活動は活発である」は97%と高い値を示している。これからも本校の特色である行事・クラブも活発に行えるようにしていく。

保護者の意見について、「生徒指導方針に対する共感できる」が90%、「学校の雰囲気がよく、子供たちが生き生きしている」は、95%と高い数値を示している。しかしながら、「学校生活についての先生の指導には納得できる」のポイントが78%と低い傾向が続いているが昨年度から4ポイント上昇した。数値だけでなく記述においても肯定的な意見があれば、改善を求める声も上がっている。chromebookなどの電子機器を使用させる機会が増える中、校則の校内スマホ使用禁止との矛盾を感じる生徒・保護者が増えていることが推測される。これからも生徒にとって何が大切で必要なのかを軸に校則について教員・生徒で考えていかなければならない。

進路指導部

生徒の結果の分析について、「将来の生き方や職業選択について考える機会がある」が96.0%と高い数値を得ている。進路決定をする上で、大学入学後や社会人でどうありたいのかといった目的を意識させることを今後も継続して意識させたい。また、「専門家の講演会や大学の見学などの行事が豊富」が95.3%（昨年度より2.8%上昇であった。昨年度は京都大学研修会と東京大学研修会オンラインで実施したのに対し、今年度は実際に大学へ訪れることができたことも要因の1つであると考察している。

保護者に関する項目も同様に高い水準を得ている。特に、「教育情報について提供の努力をしている」は93.6%（昨年度より5.2%上昇）であった。しかし、一方で「進路指導面で家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている」が80.3%であり、他の数値と比較すると低めである。進路ニュースなどを発行しているが、保護者が見ていない可能性もある。生徒に対して、必ず保護者に渡して読んでもらうように指示したい。

保健部

【相談活動】生徒回答のうちで「いじめや学校生活の悩みに親身になって応じてくれる教員がいる」の肯定的回答は92.8%、「相談室や保健室に行きやすい」の肯定的回答は75.0%であった。また、保護者回答のうちで「学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる」の肯定的回答は85.1%、「子供の心身の健康について気軽に先生に相談できる」の肯定的回答は79.5%であった。「相談活動」についていずれも高水準を維持している。ただし、近年、相談件数が増加傾向にあり、相談内容も一層きめ細かな対応を必要とするものが増えている。それを受けて少数ではあるが、「教員の多忙さ故に相談を躊躇する」といった声も聞こえる。個別の相談「対応」に加えて、学校全体での相談「体制」の充実が求められる。

【美化】美化に関する生徒項目は、R3「清掃活動が行き届いていて清潔である」からR4「清掃活動に取り組み清潔が保たれている」へと文言変更し、「人任せの清掃」ではなく「自らの清掃活動に対する取り組み」を問う形になった。生徒の肯定的回答は78.6%で、昨年度の53.8%を大幅に上回った。引き続き、大清掃やクリーンスト活動等を通して、清掃を自らの生活習慣に関わるものとして捉えて、環境美化の意識を高めるように働きかけていく。

【安全】別途実施した安全点検の結果も受けて、教室内や消火栓・非常口のライトを含め危険な箇所の整備に努めている。「施設・設備の適切な整備」に関する項目について、生徒の肯定的回答は70.8%で、昨年度の58.3%を上回った。南館西トイレの改築による、トイレ環境の改善が一つの要因であろう。ただし、依然として施設の老朽化に対する心配の声もあるため、可能な限りの改修がなされることが望ましい。

企画渉外部

保護者の「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」92.7%、「学校は、保護者が授業を参観しやすい工夫を行っている」85.4%は、昨年度と比べて大きく上昇しており、コロナ前と同水準となった。授業参観については、生徒1名につき保護者1名および1時間のみと制限はかけたものの、おおむね納得していただいていると考える。その他は例年通りであった。

来年度以降もコロナの影響を見ながら緩和できるものは緩和していき、より開かれた学校となるよう努めていきたい。

GLSSH

GLSSH事業に対する肯定回答が92.5%であった。本校独自のイベントだけでなく、毎年、多種多様のイベント案内が届いており、生徒の主体性やキャリアデザイン等に有益かつ大変貴重な経験ができるイベントも増えてきている。生徒への案内は担当者で精査し、少しでも多くの機会を提供できるように今後も活動していきたい。また、ICT活用、課題研究、大学生等の話、専門家の講演、大学の見学、設備の充実、天高アカデメイア等、GLSSHが主に担当している項目においても高い肯定回答を得ており、アンケート結果や実施内容等进行分析し、さらなる深化をめざすことで、グローバル人材、科学技術人材の育成を図っていく。